

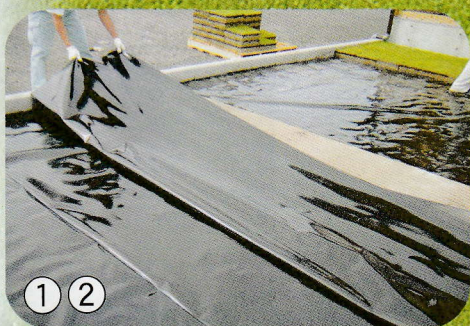
自然からの贈り物 ~25,000年もの時を経て~

南九州に大量にねむる自然素材から生まれた、**シラス・軽石製品**
環境にやさしい**自然素材**として注目されています。

《 施 工 方 法 》 インテリアブロックはコンクリートカッターで、簡単に切断できます。



①コンクリート下地の場合には、直接芝の根がコンクリート面にふれる事を防ぐために、必ず防根シートを敷いてから、ブロックをならべて下さい。



②コンクリート下地以外の場所に施工する場合に、最も注意する点は、十分路盤を整地してから、ブロックをならべて下さい。また、下地が砂質の場合、必要に応じ保水機能を高めるために、保水シートをご使用下さい。

③下からの雑草を防ぐため、ブロックはできるだけ隙間ができないよう、詰めて施工して下さい。

④ブロックの側面がむき出しの状態になる所は、部分的な乾燥を防ぐため、縁石をご使用下さい。



《 管 理 法 》

散 水 水は必要に応じ、朝方か夕方に十分与えます。

施 肥 芝の生育期(3~9月)に肥料を施すのが効果的です。
芝の生育状況を見ながら施肥を行います。真夏は施しません。

芝刈り 芝の刈り込む高さは20~25mmで、その2倍の丈になったら刈り込みを行います。

雑 草 雑草は、芝よりも生育が早いので見つけたら取り除くことが大切です。

目 土 目土とは、芝生の葉が隠れない程度に薄くまく土のことです。根や茎を発育させ、乾燥を防ぎます。芝刈り、施肥後に排水性の高いSGエースライトを使用します。

補 植 枯れた部分の芝生を基盤ブロックから撤去し、新しい芝生をのせます。

病害虫対策 薬剤散布を避け、病害虫の発生しにくい環境をつくりましょう。